

令和5年第1回
つくばみらい市定例記者会見

令和5年2月21日（火） 午前10時～



発表内容

01 組織の見直し

02 令和5年度つくばみらい市一般会計予算

- ・ 予算のコンセプトとポイント
- ・ 4つの“みらいビジョン”施策

03 第2次つくばみらい市総合計画後期基本計画の策定

04 おしらせ

- ・ 令和4年度ふるさとづくり大賞【総務大臣表彰】受賞
- ・ 第7回みらいマラソン
- ・ さくらまつり

01 組織の見直し

1局2課1チーム新設 新体制で、もっとみらいへ

未来を見据え、強力に事業を推進するため、新体制で地盤を固めます。

(議案書P7)

NEW

市長部局／5部1局24課1室1チーム
教育委員会／1部3課2室

保健福祉部 **こども局 (新設)**

おやこ・まるまるサポートセンター (課昇格)

← おやこ・まるまるサポートセンター
+
健康増進課 (母子保健、発達支援事業)

みらいこども課 (改称)

市長公室 **行政経営デジタル戦略課 (新設)**

← 企画政策課 (行政改革業務)
+
総務課デジタル推進室

都市建設部 **住まい開発政策課 (改称)**

← 開発指導課
空家対策室

秘書広報課 **ふるさと納税推進チーム (新設)**

02 令和5年度つくばみらい市一般会計予算 予算のコンセプトとポイント

コンセプト

子育て支援、教育環境の充実を図り、自治体DXによる「もっとみらいへ」を推進する



POINT
01

こども局新設による、子育ての包括的な支援を展開

POINT
02

学校教育改革プランによる、教育環境のさらなる改革を実施

POINT
03

行政、教育のDXを進め、市民サービス、教育環境の向上を図る

4つの“みらいビジョン”施策

vision1 “みらい”につながる好循環なまち

- ・ みらい型農業の更なる推進
- ・ 稼ぐつくばみらい市をさらに推進

vision2 “あれも、これも”本気の子育てのまち

- ・ 市独自に児童手当支給の所得上限を撤廃
- ・ 子育て支援体制を強化、つくばみらいモデル「こども家庭センター」
- ・ みらい型の教育改革でより良い教育環境を

vision3 “ど真ん中”に市民がいるまち

- ・ 地域課題解決に向けた取組を支援
- ・ 市民が主役のプロモーションで地元愛を醸成
- ・ 戸籍や住民票の不正取得を防ぐ、本人通知制度開始

vision4 “人に、社会に”やさしいまち

- ・ みらいの窓口は「書かない」「待たない」
- ・ エネルギーの地産地消を

vision1

“みらい”につながる好循環なまち

みらい型農業の更なる推進

【みらい型農業事業】55,116千円（予算資料P35）

POINT

“お米を食べよう条例”

つくばみらい市産米の消費拡大に関する条例を制定（議案書P5）
市、市民、生産者、事業者が一体となり、持続可能な農業の実現を目指す



01

市内産米の消費拡大を推進するため、
お米を食べよう運動を実施

今年もやります
“米コンテスト”

02

お米に興味と親しみを持ってもらうため、
フォトコンテスト・おにぎりコンテストを実施

03

昨年度に引き続き、**市内産米の買取**を実施

買取想定 4,500袋/30kg 34,380千円

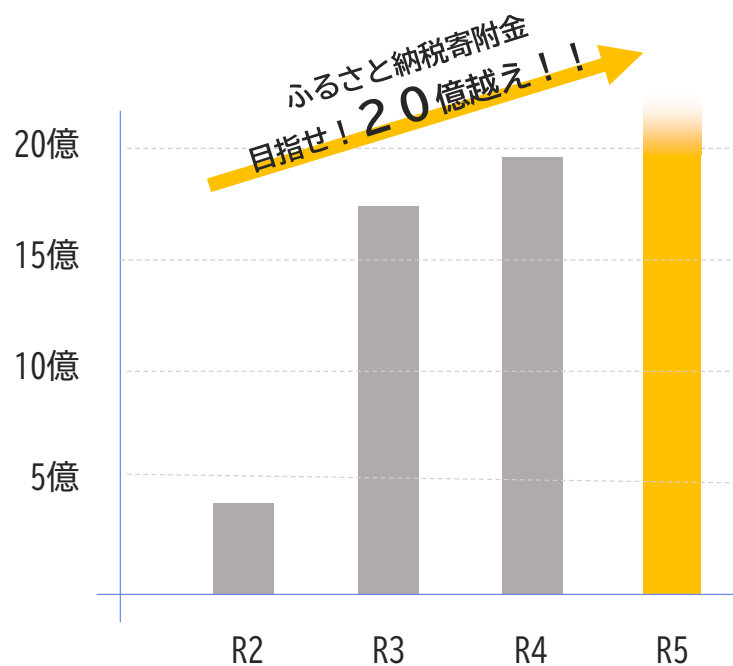
前年度比 2,500袋、20,380千円 増

稼ぐつくばみらい市をさらに推進

【寄附金／ふるさとづくり寄附金】2,000,000千円（予算資料P7）

【寄附金／地方創生寄附金】5,000千円（予算資料P7）

新たな財源確保に積極的に取り組み、都市間競争に負けない稼ぐつくばみらい市でまちに潤いを。



01

市長直轄の**ふるさと納税推進チーム**を新設し、魅力ある新たな返礼品の発掘など、地場製品の販路拡大による地域経済の活性化を図る

02

企業版ふるさと納税にも力を入れ、官民連携による地方創生の推進を図る

- ・ 子ども達の教育環境整備事業
- ・ みらい型農業事業

など

市独自に児童手当支給の所得上限を撤廃

【児童手当支給事業】984,446千円（予算資料P54）



所得上限限度額を超えた世帯にも、特例給付と同額の月額5,000円を給付

子育て世帯に差をつけないため、市独自に所得上限なく児童手当の支給を開始します。

現行の支給範囲



所得上限を撤廃

市独自の支給範囲



市独自の児童手当支給

	支給延児童数	支給見込額
児童手当支給見込み (所得制限未滿)	82,381人	923,090千円
特例給付支給見込み (所得制限超過)	7,164人	35,820千円
市独自の給付 (所得上限超過)	4,800人	24,000千円

vision2

“あれも、これも”本気の子育てのまち

子育て支援体制を強化、つくばみらいモデル「こども家庭センター」

- 【おやこ・まるまるサポート事業】（児童虐待、DV等相談支援）9,799千円（予算資料P57）
- （妊娠期からの子育て支援）49,466千円（予算資料P57）
- （ひとり親支援）12,428千円（予算資料P58）
- 【母子保健事業】77,723千円（予算資料P66）
- 【発達支援事業】10,430千円（予算資料P66）

多くの自治体

- 母子保健は、保健センター
- 発達障害相談は、障害福祉課
- 保育園相談は、保育課
- ひとり親支援は、こども課
- 児童虐待は、福祉事務所

国は母子保健・児童福祉の2機関への集約化で、課題解決を図ってきた

つくばみらい市では既に

令和3年8月から一本化

おやこ・まるまるサポートセンター（室）

- 妊娠期からの相談支援
- 家庭児童相談支援
- 保育施設入園相談
- ひとり親相談支援
- DV・虐待相談支援
- +
- ひとりぼっちにしない支援
- ボランティア連携 etc

もっと早く
もっと寄り添う！

1箇所でまるまるサポート！！

おやこ・まるまるサポートセンター（課）

子育てに対する包括的な支援をする
[こども家庭センター]をさらに高度な
つくばみらいモデル **R5年4開設**

国が示したモデルのさらに先へ

- ・新生児訪問
- ・産後ケア
- ・乳幼児健診
- ・発達支援 など一体化

こども局を新設し、こどもたちの未来を考えた
子育て支援体制を強化します

妊産婦、妊娠を希望する方、こども、保護者をより強固な支援体制で、切れ目なく支援

みらい型の教育改革でより良い教育環境を

【教育改革事業】13,320千円（予算資料P89）

【総合教育支援センター事業】24,458千円（予算資料P88）

現場の声を聴き、子ども達と先生がより向き合える“みらい型”の教育改革を進めます。



【みらい型カリキュラムマネジメント】

小・中学校の**6時間授業を削減**
5時間授業の日を増やし、子ども達と
先生の日常負担を軽減

下校時間が早まり、安全安心
子ども達の自由時間も増加

長期休みの変更

- **夏休み短縮**による授業時数の確保
夏休み：7/23～8/25（従前7/21～8/31）
- **春休み延長**による新年度準備期間の確保
春休み：3/25～4/7（従前3/25～4/5）



【総合教育支援センターの開設】

児童生徒の活動の充実と心の
居場所をつくる

十和小学校跡地に適応支援教室
「なのはな」の活動スペースを拡充

学校・家庭・関係機関との連携で多様
な教育相談に対応する

アウトリーチ型の家庭訪問、学校訪問
特別支援教育の充実
いじめ問題、その対策に関する支援

地域課題解決に向けた取組を支援

【市民活動支援事業】2,110千円（予算資料P23）

地域課題の解決に取り組むNPO法人、ボランティア団体等や地域コミュニティ組織に対して補助金を交付

市民とともに地域課題解決へ

01 市民活動団体の設立や事業拡大を支援

市民活動支援補助金
スタートアップ補助金 25万円/団体
ステップアップ補助金 20万円/団体

02 地域課題解決に自ら取り組むモデル地区を支援

地域づくり活動モデル地区支援補助金 100万円/団体

福祉



環境



子育て



防犯
防災



vision3

“ど真ん中”に市民がいるまち

市民が主役のプロモーションで地元愛を醸成

【シティプロモーション事業】16,593千円（予算資料P19）

市民が主役となるプロモーションを展開し、まちへの愛着を醸成しながら、市民と一緒に100年間愛される地元をつくる。

I LIVE IN TSUKUBA MIRAI.

01

市内の子どもたちと、市の**新たな価値**を創る

02

イベントや映像をとおして、市内外の人**の興味**を得る

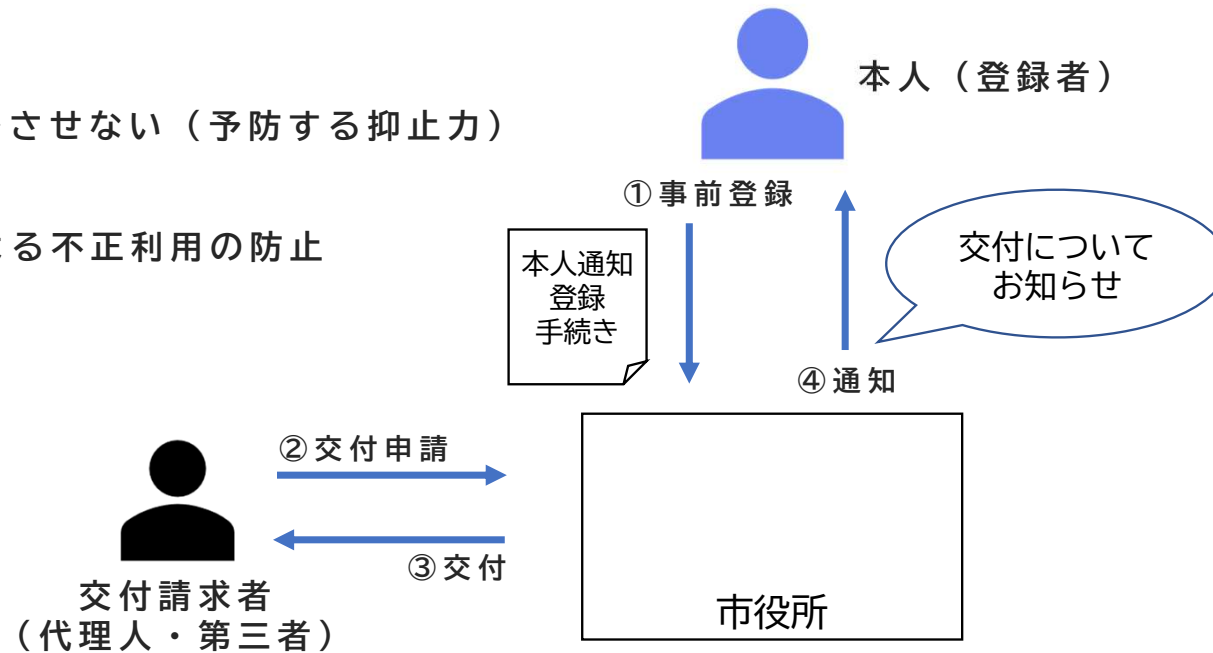


戸籍や住民票の不正取得を防ぐ 本人通知制度開始

市が、戸籍謄本や住民票の写しなどを、委任状を持った代理人や第三者に交付した場合に、希望した本人に対して交付したことをお知らせする制度を開始します。

01 不正な請求をさせない（予防する抑止力）

02 早期発見による不正利用の防止



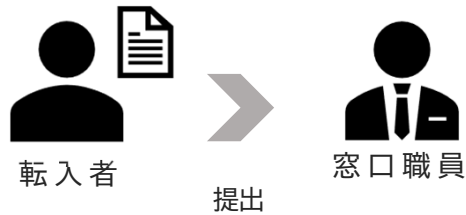
みらいの窓口は「書かない」「待たない」

【窓口DX事業】71,043千円（予算資料P44）

窓口DXの推進で、来庁者の負担を軽減し、市民サービスの向上を図る。

▼転入手続き

転出証明書など

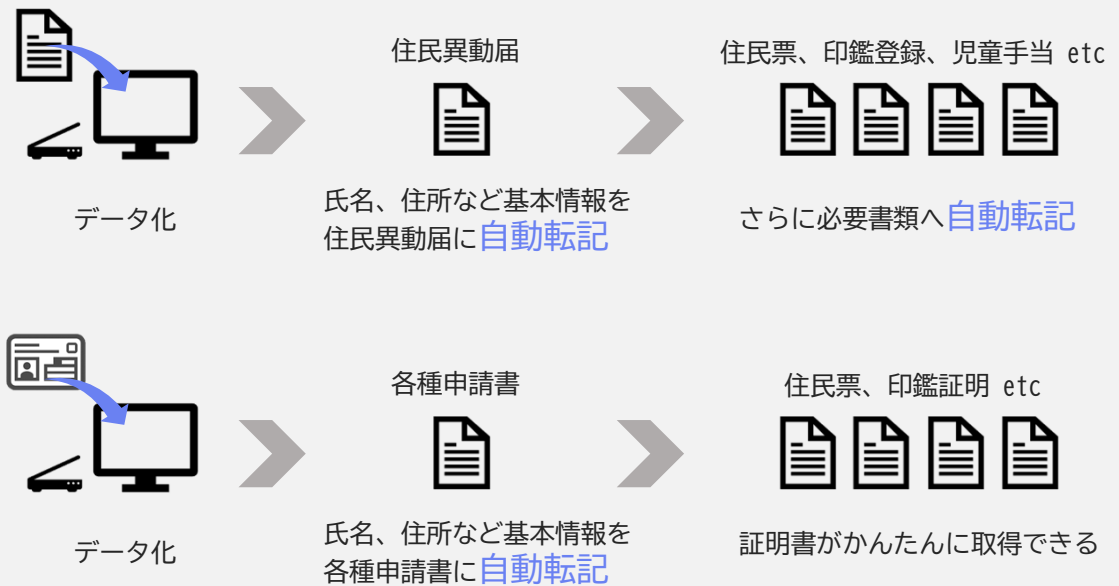


▼証明書交付手続き

マイナンバーカードなど



窓口支援システム



エネルギーの「地産地消」を

【温暖化対策事業】17,430千円（予算資料P42）

再生可能エネルギーで、ゼロカーボンシティの実現を目指します



01

市内の再生可能エネルギーのポテンシャルを調査

市内における再生可能エネルギーのポテンシャルを調査します

再生可能エネルギー導入目標計画策定業務／7,942千円

02

公共施設等に再生可能エネルギー設備の導入を具体化

公共施設等に再生可能エネルギー設備の導入を進めていきます

公共施設等再生可能エネルギー設備導入業務／5,500千円

03 第2次つくばみらい市総合計画後期基本計画の策定

もっとみらいへ 新しいみらいへ

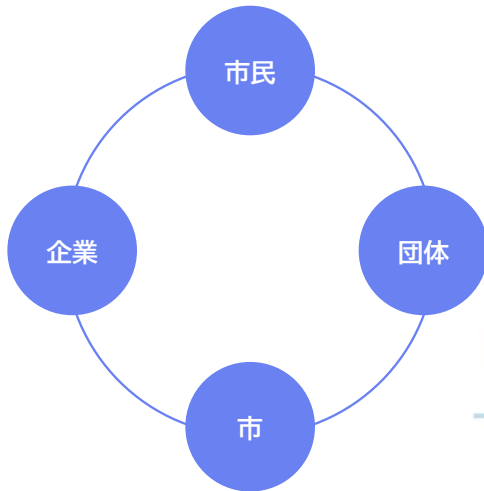
時代の潮流に合わせ計画を見直し、市に関わる全ての人々が主役となるまちづくりへ

(参考資料／第2次つくばみらい市総合計画後期基本計画(案))

POINT
01

つくばみらい市が大切にしたいこと

みらいビジョンを基にした4つの重点項目を、市民・団体・企業などと共有し、協働のまちづくりを進めます



POINT
02

みらい指標

アンケート調査により4つの項目レベルを確認しながら、市民の声に即した施策に取り組むことで市民一人ひとりの幸福感が高まるまちづくりを進めます

幸福感

愛着度

定住
意向

施策
満足度



POINT
03

わたしたち市民にできること

“市民自身からのご提案”を活用して、日々の暮らしの中で自分ごととして取り組めることを掲載します

- 地産地消を意識して、市内産農産物を購入します。
- ゴミ拾いなど環境美化活動に参加します。
- 普段からつながりを大切にし、災害が起こった時は、地域で声を掛け合いながら避難します。

…などなど

04 おしらせ

令和4年度ふるさとづくり大賞【総務大臣表彰】受賞

「みらい都市」の実現に向けての取組が評価

脱炭素社会の実現や社会課題の解決に向け、高砂熱学工業株式会社と「教育」「防災」「コミュニティ」「エネルギー」の4つの分野で相互に連携し、持続可能な社会の発展のための取組が評価され受賞にいたしました。



高砂熱学環境クリエイター賞を創設し、夏休みの自由研究を表彰

災害時避難所用コロナ対策空調換気ブースの寄贈

富士見ヶ丘小学校を実証実験のフィールドとした、体育館用空調システムの開発

地域コミュニティの形成等を目的にたかさごマルシェを開催

左から、中川貴元総務大臣政務官
小田川浩市長
高砂熱学工業株式会社 研究開発本部 山本一郎本部長

04 おしらせ

第7回みらいマラソン

3大会ぶりリアル開催、子どもたちがみらいを駆ける

新型コロナを考慮し部門を縮小、子どもたちを対象に3大会ぶりに市内を走ります。

期日

2023. 3. 5 [sun] AM 9:00 start

コース

福岡工業団地内

種目

1.4km 親子(未就学児)

2.0km 親子(小学1、2年生) 小学3、4年生

2.5km 小学5、6年生



04 おしらせ

さくらまつり

さくら咲き誇る、つくばみらいに春がくる

市民が楽しみにしている春の一大イベント、福岡堰の桜オーナー制度の掲示も。

event1

令和5年福岡堰さくらまつり

主催／福岡堰さくらまつり実行委員会
つくばみらい市観光協会

2023. 3. 31 [FRI] ~ 2023. 4. 4 [THU]

event2

第8回きらくやま桜まつり

主催／つくばみらい市社会福祉協議会

2023. 4. 1 [SAT] ~ 2023. 4. 9 [SUN]

